

平成29事業年度

決算報告書

第14期

自：平成29年4月 1日

至：平成30年3月31日

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学

## 平成29年度 決算報告書

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	5,863	5,899	36	(注1)
施設整備費補助金	154	59	△ 95	(注2)
補助金等収入	375	437	61	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	21	21	—	
自己収入	679	698	19	
授業料、入学金及び検定料収入	559	556	△ 2	
雑収入	120	141	21	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,190	1,741	550	(注5)
目的積立金取崩	—	19	19	(注6)
計	8,284	8,875	591	
支出				
業務費	5,969	5,537	△ 432	
教育研究経費	5,969	5,537	△ 432	(注7)
施設整備費	154	80	△ 74	(注8)
うちRI設備等の整備事業	—	52	52	
うち災害復旧事業	—	7	7	
補助金等	375	437	61	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,190	1,647	456	(注10)
長期借入金償還金	572	572	△ 0	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	21	—	△ 21	(注11)
計	8,284	8,274	△ 9	
収入-支出	—	600	600	

## ○予算と決算の差異について

(注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった特殊要因経費(退職手当及び年俸制導入促進費)が57百万円交付されたこと、また運営費交付金に計上した債務繰越分が予算段階の金額よりも20百万円少額であったことにより、予算金額に比して決算金額が36百万円多額となっております。

(注2) 施設整備費補助金については、予算段階の金額よりも交付額が少額であったことにより、予算金額に比して決算金額が95百万円少額となっております。

(注3) 補助金等収入については、予算段階の金額よりも受入額が多額であったことにより、予算金額に比して決算金額が61百万円多額となっております。

(注4) 雑収入については、主として動物実験施設利用負担金収入及び違約金収入の増加等が要因となり、予算金額に比して決算金額が21百万円多額となっております。

(注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、主として受託研究の受入額の増加等が要因となり、予算金額に比して決算金額が550百万円多額となっております。なお、決算金額については前期からの繰越金145百万円を含んでおります。

(注6) 目的積立金取崩については、予算段階では予定していなかった取崩事業が発生したことにより、予算金額に比して決算金額が19百万円多額となっております。

(注7) 教育研究経費については、主として経費の節減により、予算金額に比して決算金額が432百万円少額となっております。

(注8) (注2)に示した理由によること、また予算段階では施設交付事業費21百万円を大学改革支援・学位授与機構施設費納付金に計上していたため、予算金額に比して決算金額が74百万円少額となっております。

(注9) (注3)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が61百万円多額となっております。

(注10) (注5)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が456百万円多額となっております。

(注11) (注8)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が21百万円少額となっております。